

各関係機関団体の長 } 殿  
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病虫害防除所)

令和6年度病虫害発生予察技術情報第3号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第3号（果樹カメムシ類、ヒノキ球果結実量）を発表したので送付します。

技術情報第3号

- 1 対象作物：果樹全般
- 2 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ他）
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生予報

越冬世代：越冬量が多くヒノキ球果結実量が少ない為、6月以降も引き続き8月まで果樹園へ多く飛来する恐れがある。

当年世代：例年では7月下旬から当年第一世代が成虫となり、その多くがスギ・ヒノキ樹に寄生する。今年度はスギ・ヒノキ樹からの離脱については、球果結実量が少ないため、例年より早まり、8月上旬以降果樹園へ多く飛来する恐れがある。

5 ヒノキ球果結実状況、果樹カメムシ類発生状況

(1) ヒノキ球果結実状況

県下46地点の定点達観調査結果は次項表のとおり

県下平均：球果結実量は少ない 評価値 1.9 (2014～2023年10年間平年値 3.7)

朝倉地域：球果結実量は少ない 評価値 2.2

久留米・うきは地域：球果結実量は少ない 評価値 2.2

八女地域：球果結実量は少ない 評価値 1.8

福岡・筑豊・京築地域：球果結実量は少ない 評価値 1.7

(2) 果樹カメムシ類発生状況

筑紫野市における、チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数は昨年度より多い。

昨年度及び、越冬量が多くヒノキ球果結実数が少なかった年度との比較は、下記のとおり。

2024年度：越冬量 2.3頭/m<sup>2</sup>、4～5月誘殺数 1,827頭 ヒノキ球果結実数評価値 少ない 1.9

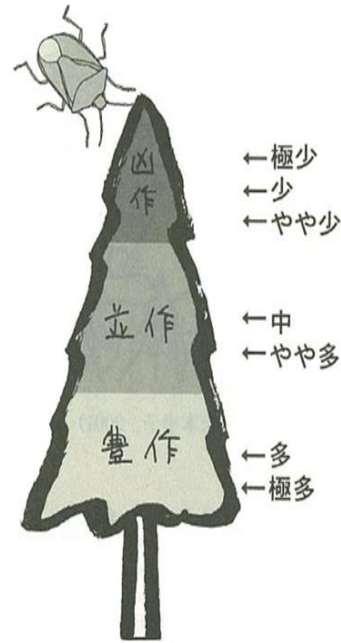
2023年度：越冬量 1.1頭/m<sup>2</sup>、4～5月誘殺数 558頭 ヒノキ球果結実数評価値 中程度 3.7

2020年度：越冬量 5.0頭/m<sup>2</sup>、4～5月誘殺数 1,489頭 ヒノキ球果結実数評価値 少ない 2.0

2004年度：越冬量 4.7頭/m<sup>2</sup>、4～5月誘殺数 6,941頭 ヒノキ球果結実数評価値 極少 1.0

# ヒノキ球果結実量達観調査結果(2024年)

評価場所	調査結果		調査月日		
	評価	値			
朝倉地域	筑前町炊田①	中～やや多	4.5	6月6日	
	筑前町炊田②	極少	1.0	6月6日	
	筑前町森山	極少～少	1.5	6月6日	
	朝倉市長谷山	極少	1.0	6月6日	
	朝倉市千手	極少	1.0	6月6日	
	朝倉市柿原	極少	1.0	6月6日	
地域平均値	朝倉市烏集院	極少～少	1.5	6月6日	
2.2	朝倉市志波①	多～極多	6.5	6月6日	
	少	朝倉市志波②	少	2.0	6月6日
	久留米地域・浮羽	久留米市田主丸町益生田	やや多～多	5.5	6月10日
地域平均値	久留米市田主丸町石垣	極少	1.0	6月10日	
	久留米市田主丸森部	少	2.0	6月10日	
	うきは市福益①	少	2.0	5月29日	
2.2	うきは市福益②	極少～少	1.5	5月29日	
	少	うきは市小塩	少～やや少	2.5	6月10日
	少	うきは市妹川	極少	1.0	6月10日
八女地域	広川町榎①	極少	1.0	6月11日	
	広川町榎②	極少	1.0	6月11日	
	八女市黒木町今①	極少	1.0	6月11日	
	八女市黒木町今②	少～やや少	2.5	6月11日	
	八女市黒木町野田山①	極少～少	1.5	5月22日	
	八女市黒木町野田山②	極少	1.0	6月11日	
	八女市立花町飛形山①	極少	1.0	6月11日	
	八女市立花町飛形山②	少	2.0	6月11日	
	八女市立花町山崎	少～やや少	2.5	6月11日	
	地域平均値	八女市立花町白木	少	2.0	6月11日
1.8	少	みやま市山川町立山	中	4.0	6月11日
	少	みやま市山川町河原内	少～やや少	2.5	6月11日
福岡・筑豊・京築地域	筑紫野市天山	極少	1.0	6月6日	
	筑紫野市山家①	極少	1.0	6月6日	
	筑紫野市山家②	極少	1.0	6月10日	
	筑紫野市吉木	少～やや少	2.5	6月6日	
	糸島市本	極少	1.0	6月6日	
	糸島市高祖	やや少～中	3.5	6月6日	
	宗像市山田	やや多	5.0	6月7日	
	宗像市王丸①	少	2.0	6月7日	
	宗像市王丸②	極少	1.0	6月7日	
	宗像市王丸③	極少	1.0	6月7日	
	飯塚市庄内町高倉	極少～少	1.5	5月20日	
	田川市猪国①	極少	1.0	6月10日	
	田川市猪国②	極少	1.0	6月10日	
地域平均値	みやこ町勝山大久保①	少～やや少	2.5	6月10日	
	みやこ町勝山大久保②	極少	1.0	6月10日	
	みやこ町犀川大坂	極少	1.0	6月10日	
	1.7	みやこ町犀川木山	極少	1.0	6月10日
少	みやこ町犀川下高屋	少～やや少	2.5	6月10日	
平均			1.9		



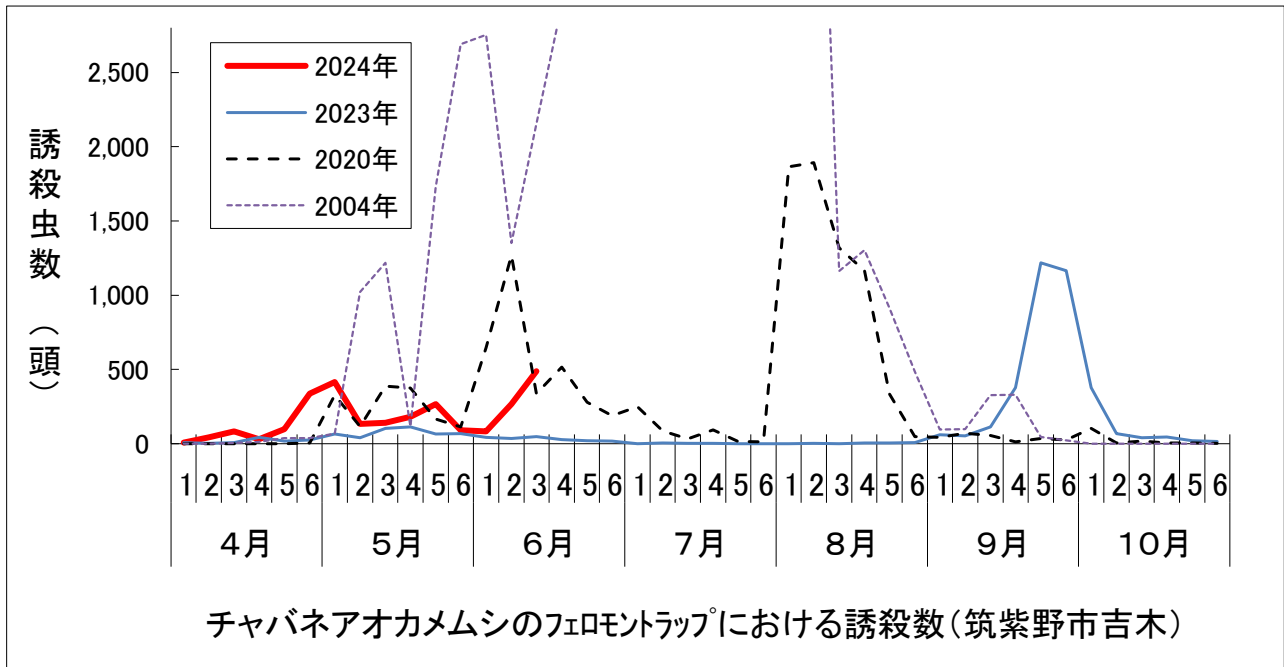
評価	値	量
極少	1	一部の樹では上部に球果が見られるが、多くの上部には球果がない
少	2	球果が全くない樹も見られるが、多くの樹の上部には球果がある
やや少	3	球果が全くない樹も見られるが、多くの樹の上部には球果があり、一部の樹では中央部にも見られる
中	4	中央部まで、球果が見られる樹が多い
やや多	5	多くの樹では中央部まで、多くの球果が見られ、一部は下部にも球果がある
多	6	下部まで、球果が見られる樹が多い
極多	7	ほとんどの樹で下部まで、多くの球果が見られる

## ヒノキ球果の評価

注1) ヒノキ球果着生量の評価と値は、右図・表に示す球果結実量に基づく  
 注2) 調査地点に植栽されているヒノキを可能な限り調査し、総合的に判断

### チャバネアオカメムシの越冬量及びヒノキ球果結実量の推移

年/項目	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
越冬成虫数(頭/m <sup>2</sup> )	3.8	0.8	5.0	0.3	0.8	1.1	2.3
ヒノキ球果着生量	評価値	4.4	3.6	2.0	4.5	4.4	3.7
	程度	中	中	少	やや多	中	中



## 6 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹カメムシ類は夜温が高くなると活動が活発になるので、気温の推移と予察灯やフェロモントラップでの誘殺数が増加する時期と量に留意し、果樹園への飛来状況の把握に努める。  
発生時期や発生量は地域や園によって大きく異なるため、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。
- (2) モモ・ナシなど春季に結実する果樹については、例年より早く被害が発生する恐れがあるため、飛来状況を確認し、防除や袋掛け作業を徹底する。また、果樹カメムシ類は広範囲に移動することから、薬剤散布は広域で一斉防除を実施することで、高い防除効果が期待される。
- (3) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

①福岡県病害虫防除所のホームページ  
URL: <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>  
または右のQRコード



②X (旧 Twitter) の  
本アカウント (福岡県農作物病害虫情報)  
URL: [https://twitter.com/PPDPO\\_Fukuoka](https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka)  
または右QRコード

